

整理番号	HT28146	分野	医歯薬学	(キーワード)創薬
------	---------	----	------	-----------

千葉県がんセンター研究所

「がん」の治療薬ってどうやって創るの？

先生(代表者)	永瀬 浩喜(ながせ ひろき)・千葉県がんセンター研究所・所長			
自己紹介	小児外科医を志しましたが、難治性のがん患児を治療できない現実に直面し、何とか治療法が見つけれないかと基礎研究の道に入りました。全く新しいがん治療薬を開発するため、海外や企業で遺伝学・ゲノム・薬剤開発等多彩な研究を研鑽しました。まず、成人のがんで治療薬を開発し、将来的に小児がんへ応用したいと日夜研究に励んでいます。			
開催日時・主な募集対象	平成 28 年 8 月 2 日(火)	(対象)	中学生・高校生	(人数) 24 名
集合場所・時間	千葉県がんセンター事務研修棟大会議室		(集合時間)	午前9時30分
開催会場	千葉県がんセンター研究所 住所: 〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2 アクセスマップ: http://www.pref.chiba.lg.jp/gan/riyo/kotsu.html			
内 容				
本プログラムでは、口内粘膜より自らのゲノム DNA を採取し、体質の決定に関連する遺伝子を増幅して視覚的に DNA を観察するとともに、「がん」とはこの遺伝子 DNA に入った傷に起因すること、およびがん治療薬の開発研究の実際を理解し考察していただくことを目的とします。本プログラムの最初に講義「がんと遺伝子」を設定し、がんは遺伝子の病気であることの意味を説明します。実験終了後の講義「新しい治療薬の開発」では、科研費で実施されている「新規抗がん剤の開発研究」の発想および現状について紹介します。実験(1)「口内粘膜から DNA をとろう」では、粘膜細胞からのゲノム DNA の抽出を体験することによって、その原理の理解を計ります。実験(2)「体質関連遺伝子を増やそう」では、PCR 法を用いて肉眼では見えない特定の体質関連遺伝子を増幅します。そして実験(3)「遺伝子を見よう」では、実験(2)で増やした遺伝子 DNA をエチジウムブロマイドで染色して観察します。				
スケジュール			持 ち 物	
9:30-10:00 受付(千葉県がんセンター病院事務局大会議室)			筆記用具	
10:00-10:20 開講式(実施代表者のあいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)			飲料水	
10:20-10:40 講義「がんと遺伝子(講師:永瀬 浩喜)」(終了後10分間の質疑応答)			特 記 事 項	
10:40-11:50 実験(1)「口内粘膜から DNA をとろう」			実験に適した服装をお願いします。女子のスカートはご遠慮ください。サンダルおよび半ズボンもご遠慮ください。こまめに水分を摂取するようにお願いします。気分がすぐれない時にはお知らせ	
11:50-12:50 昼食および休憩(千葉県がんセンター病院事務局大会議室)				
12:50-13:50 実験(2)「体質関連遺伝子を増やそう」				
13:50-14:20 英会話スクールおよび10分間の休憩(留学生)				

14:20-14:50	クッキータイムおよび大学院生との交流(将来へのキャリアパス)	せください。
14:50-15:50	実験(3)「遺伝子を見よう」	
15:50-16:10	実験結果についてのディスカッション	
16:10-16:30	講義「新しいがん治療薬の開発」(講師:永瀬 浩喜)	
16:30-17:30	修了式(アンケート記入、未来博士号授与)	
17:30	終了、現地解散	

《お問合せ・お申込先》

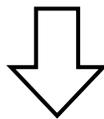
所属・氏名：	千葉県がんセンター研究所・尾崎 俊文
住所：	〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2
TEL 番号：	043-264-5431
FAX 番号：	043-265-4459
E-mail：	tozaki@chiba-cc.jp
申込締切日：	平成28年 7月 10日(金)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、7月15日(金)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
永瀬 浩喜	平成 26-28 年	基盤 B 一般	26290060	ドライバーミューテーション特異的アルキル化剤開発



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。